



アマモ場再生の 取り組みを 大きく広げるために！



藻場は、水産生物、特に幼稚魚等の生育域の確保、温室効果ガスの隔離など、海洋環境の維持・改善等の側面から保護すべき重要な自然環境ですが、経済活動等による藻場面積の減少が進行しています。藻場の減少は、ひいては沿岸海域の水産資源の減少にもつながるため、藻場の再生をわがこととして取り組もうという活動が各地で行われていますが、藻場の縮小を食い止めるほどの規模に達していないのが現状です。藻場再生活動の課題として、①ブルーカーボンプレジット等社会全体で藻場再生を支えていくしくみ、②水産資源の回復など漁業者が生業の一環として取り組めること、③藻場再生に関心を寄せるより多くの人たちが、潜水等の特殊な技術を必要とせずに参加できる効率的な藻場再生技術、が重要と考えられます。

このシンポジウムでは、これらの観点からアマモ場の再生について専門家のご意見をお聞きし、また、実際に藻場再生に取り組んでおられる方々から日頃の活動を紹介していただきます。

NPO法人近畿アグリハイテク 理事長 白岩 立彦（京都大学名誉教授）

■ 講演

1. ブルーカーボンに関する最新の動向

ジャパンブルーエコノミー技術研究組合理事長 桑江朝比呂 氏

2. 瀬戸内地域におけるブルーカーボン創出に向けて

株式会社中国銀行地方創生SDGs推進部 上席スペシャリスト 武田憲和 氏

3. 漁業者や市民によるアマモ場再生活動を加速する藻場再生技術

和歌山工業高等専門学校 教授 楠部真崇 氏

4. 瀬戸内地域における藻場の現状と水産業

(国研)水産研究・教育機構水産技術研究所沿岸生態系暖流域グループ長 堀 正和 氏

5. アマモ場再生40年の歩みー岡山県日生(ひなせ)ー

NPO法人里海づくり研究会議 理事・事務局長 田中丈裕 氏

6. 兵庫運河の藻場再生活動(現地)

「兵庫運河を美しくする会」(兵庫漁業協同組合) 糸谷謙一 氏

■ 日 時: 2024年7月26日(金)13:00~17:15

■ 場 所: ノエビアスタジアム(兵庫県神戸市兵庫区御崎町1丁目2-2)コンファレンスルーム研修室1
(1.~5. は、Zoom による Web 参加も可能)

■ 参加費: 無料(どなたでも参加できます)

■ 主 催: NPO法人近畿アグリハイテク

■ 共 催: NPO法人中四国アグリテック、和歌山工業高等専門学校、
NPO法人和歌ノ浦ブルーエコノミー推進研究機構、海の会議

※本シンポジウムは、農林水産省の実施する委託事業『「知」の集積による産学連携支援事業』の一環として実施するものです。

問い合わせ・申込先

NPO法人近畿アグリハイテク

〒606-0805 京都市左京区下鴨森本町15 (財)生産開発科学研究所内

TEL/FAX 075-711-1248 e-mail:office@kinkiagri.or.jp

申込み

講演会参加をご希望される方は、お名前・ご連絡先等必要事項を記入のうえ、
郵送、ファックスまたはメールにより、7月22日(月)必着で上記事務局宛お送り下さい。

下記の「参加方法」欄のいずれかに○をお付け下さい。

<Web参加をご希望の方は参加用URLをお送りしますので、**必ずメールアドレスをご記入ください**>

ふりがな お名前	ご連絡先 メールアドレス (TEL:FAX)	参加 方法	所属(団体名)又は 住所(市町村名まで結構です)
		会場 Web	
		会場 Web	
		会場 Web	
		会場 Web	
		会場 Web	
		会場 Web	
		会場 Web	
		会場 Web	
		会場 Web	
		会場 Web	

※お申し込みに係る個人情報につきましては、本シンポジウム会以外では使用いたしません。